

2 個別事業評価調書

団体名:与謝野町

事業名		阿蘇霊照苑火葬炉整備事業					
事業の概要		<p>本町唯一の火葬場である阿蘇霊照苑の火葬炉が劣化してきており、現状のまま使用を続けると不具合が発生する可能性がある。火葬場という性質上、万が一にも炉の使用停止等の事態が発生してはならず、施設を円滑に運営するために火葬炉の整備を実施するものである。</p> <p>< 工事内容 > セラミックファイバー張替 断熱扉補強</p>					
		事業期間	平成18年度				
		総事業費	786	本年度事業費	786	交付金交付額	393
事業評価	事業の必要性	本町唯一の火葬場である阿蘇霊照苑の火葬炉が劣化してきており、現状のまま使用を続けると不具合が発生する可能性がある。火葬場という性質上、万が一にも炉の使用停止等の事態が発生してはならず、施設を円滑に運営するためにも火葬炉を正常な状態で維持しなければならない。					
	事業の有効性						
	事業の効率性	現状では部分的な劣化であるが、このまま放置すると炉自体の損傷につながり、膨大な補修費を必要とすることとなる。このような損傷を避けることで無用な出費を防ぎ、かつ、炉の延命措置に資するものとなる。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		3 リーディング・モデル成果					
		4 広域的波及成果					
<p>5 行財政改革に資する成果</p> <p>現状では部分的な劣化であるが、このまま放置すると炉自体の損傷につながり、膨大な補修費を必要とすることとなる。このような損傷を避けることで無用な出費を防ぎ、かつ炉の延命措置に資するものとなる。また、炉の保熱性の維持・向上を図ることができるため、燃費の向上・環境負荷の軽減等の効果も得られる。</p>							
6 その他の成果							
<p>本施設は町内唯一の火葬場であり火葬炉が機能停止した場合の影響は計り知れず、町民の混乱を未然に防ぐためにも本事業は必須である。</p>							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。